

## 桃太郎線の LRT 化検討に思いをはせて・・・



旧一宮駅

2003 年(平成 15 年)に JR 西日本は将来的に吉備線を路面電車化し、<sup>1</sup>ライトレール (LRT) への転換を検討していると発表した。これは吉備線が岡山市内を走っており、LRT 化して駅数を増やせば乗客の増加が望めるというものである。同時に岡山電気軌道との相互乗り入れを行うなどさまざまな構想も浮かんでいる。

2017 年度(平成 29 年度)中に一定の目処を付ける方向で地元自治体と協議中であることを明かし、そういえば数年前、岡山市が中山小学校・体育館で地元(住民)に対し LRT 化の概要説明会があったことは記憶に新しい。莫大(桁違い)な金額がかかるとの試算があることも(うわぁ～)

しかしながら、世界中を震撼させた新型コロナウイルス感染症が流行、2021 年 2 月以降 JR 西日本が大幅な減収、岡山市および総社市においても税収減やコロナ対応により財政状況が悪化していることなどが要因で、LRT 事業の支出が増える時期を前に 3 者協議が中断する見通しとなった。今年 5 月からは、**新型コロナの分類が「5 類」に変わる**と発表があったものの、地元との協議再開の時期は決まっておらず、2018 年 4 月の 3 者合意時に約 10 年での実現を目指していた事業は大幅に遅れる見込みであり、LRT 化はもはや夢もの語りで終わるのではと危惧される。

この LRT 化を思い出し、私ごとで恐縮だが廃線を前提としていたところから取り組みが始まった<sup>2</sup>富山港線の LRT 化が、2006 年(平成 18 年)に実現していることから、自分の目で確認するため昨年(2022 年 11 月)富山へ出かけてみた。(私は、JR 社員でも自治体職員でもありません、つまり自費で・・・(笑))昔の語り部も今や貴重、IT が進化し何時でも何処でも手軽に写真が撮れる現代と異なり、過去を紐解く術が限られる今日、私たちが今出来ることを後世に伝える役務があるのではないのでしょうか。そこで、出来る限りの資料・写真等を集め、皆さんにご覧いただく機会を提供し、地元の歴史に少しでも興味を持ち、お互いに明るい未来への懸け橋となるよう、電子町内会は頑張っていますので、温かいご声援等よろしくお願いいたします。



令和 4 年(2022 年)11 月 富山にて

<sup>1</sup> ライトレール(LRT:Light Rail Transit)とは、快適で省エネ性に優れた、新しい路面電車交通のことをいう。

<sup>2</sup> 富山港線(とやまこうせん)は、富山県富山市の富山駅停留場から同市の岩瀬浜駅までを結ぶ富山地方鉄道の軌道・鉄道路線である。